

ゆるめき

● 第23回 日本慢性期医療学会in名古屋 平成27年9月10日(木)~11日(金)

愛知県名古屋市で行われた日本慢性期医療学会にて、永生病院のリハビリテーション科から「生活行為向上マネジメントを活用した介護療養型病棟での作業療法の取り組み」、サンライズこんぴらから「認知症になっても生活していける町にするために〜認知症サポーター養成講座〜」の2演題を発表してきました。

全国から多くの参加者が集まってきた中で、当院の取り組みを発表したり、他の職種の演題発表を聞く事で、自分達の仕事を振り返る良い機会となり、今後の課題を見つける事もできました。学会で学んだ事を今後の業務に活かしていきたいと思ひます。

● 第57回 全日本病院学会in北海道 平成27年9月12日(土)~13日(日)

北海道で行われた全日本病院学会にて、永生病院の一般病棟から「嚥下障害患者の在宅復帰支援〜胃瘻造設の検討から自己管理による退院まで〜」、栄養科から「嚥下調整食への取り組み」の2演題を発表してきました。



2人とも初めての発表でドキドキしましたが、院内での練習の成果が表れ本番では落ち着いて発表する事ができました。座長からは、「早い段階から患者様と関わり、退院まで導けた事はすばらしい。」「全スタッフで協力して給食運営できている事はすばらしいことなので、今後も頑張ってください。」とお褒めの言葉を頂く事ができました。

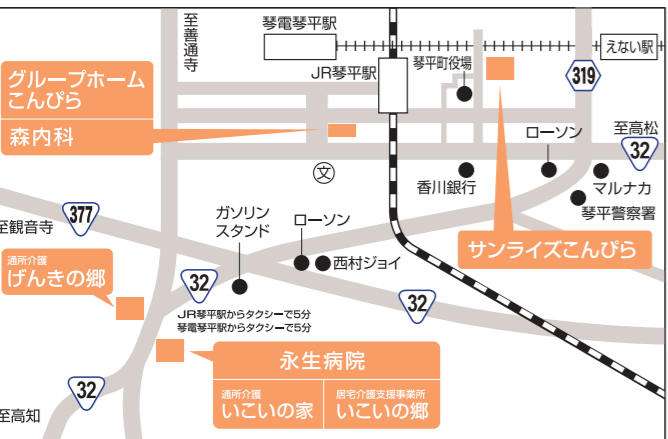
これからも信頼される医療を目指し、様々な事に取り組んでいきたいと思ひます。

● 精度保障施設認証

(一社)日本臨床衛生検査技師会では、各施設で行われている検査が一定の水準以上の精度を保っている施設を認証しています。

これは患者様が受けられた検査がきちんと正しく実施されていることを認証するものです。県内でも9施設ほど認証を受けた施設がありますが、当院もその一つとして「精度保障施設認証 第15-0347号」の認証を受けています。より良い治療につながるよう、精度の保証された検査結果が出せるよう努力していきたいと思ひます。

【編集後記】 暑い夏から、あっという間に寒さを感じるほどの秋になってしまい、衣替えが間に合わなかったのではないのでしょうか?体調をくずしやすい時期ですが、秋の味覚をたくさん摂って、暑さで疲れている身体をいたわってあげてください。元気が出たら秋を感じられる気持ちのいい場所を探してウォーキングに出掛けましょう!



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

医療法人 圭良会	
● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんぴら (認知症対応型共同生活介護)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんぴら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町権井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第41号
発行元：医療法人 圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日：平成27年10月23日

【理事長のあいさつ】
医療イノベーション

【うまげな話】
「ビタミンEの効能」

【健康ひろば】
「胃がん検診について」

【行事報告&お知らせ】

- 第10回 院内学会開催
- 第23回 日本慢性期医療学会in名古屋
- 第57回 全日本病院学会in北海道
- 精度保障施設認証

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



KEIRYOKAI

医療イノベーション

昨今、いたるところでイノベーションという言葉が聞かれます。とりわけ、医療分野において顕著に使われており、医療の各方面において特にその期待が大きいものと思われる。

日本では、高齢化の進展とともに平均寿命も延びてきましたが、健康寿命との差が男性では、9.13歳、女性では、12.68歳であり、この間医療や介護を受ける密度が高くなるのが危惧されています。また、高齢化に伴い疾病構造も変化してきており、死亡原因として脳血管障害は低下している一方、がんについて、心臓病、肺炎が伸びています。要介護状態になる原因疾患として、認知症をはじめ、関節疾患、ロコモティブシンドロームが課題となっています。終末期医療のあり方についても今後議論されることとなりそうです。

今年8月厚生労働省より「保健医療2035」提言書が出されました。健康長寿を目指して、団塊ジュニア世代が65歳に到達し始める2035年をターゲットとして、保健医療のあるべき姿が提示されています。概要は右記の如くです。

目標

人々が世界最高水準の健康、医療を享受でき、安心、満足、納得を得ることができる持続可能な保健医療システムを構築し、我が国及び世界の繁栄に貢献する。

基本理念

- ①公平・公正
- ②自律に基づく連帯
- ③日本と世界の繁栄と共生

達成すべき3つのビジョンとアクション

- ①保健医療の価値を高める
- ②主体的選択を社会で支える
- ③日本が世界の保健医療を牽引する

実現に向けて今後の行程表も作成されていますが、既存の取り組みの中での延長では不可能であり、基本理念を守りつつ変革を行っていくという壮大な計画です。スローガンに終わらず、良いかたちでの健康長寿が実現できればと期待するところです。



理事長
森 伊津子



健康は毎日の食事から...

【第13回】～小さいけど大きなパワー～ ビタミンEの効能

ビタミンEは、強い抗酸化パワーをもつビタミンで、細胞の老化を防ぐことから、老化防止や生活習慣病の予防に有効です。また、ホルモンの生成や分泌に関わったり、血行をよくしたりする働きもあります。今回はこの「ビタミンE」についてご紹介したいと思います！

ビタミンEの主な効果効能

抗酸化作用・動脈硬化防止・老化予防・血行改善

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	10mg	9mg
60歳以上	9mg	8mg

緑黄色野菜や果物などの抗酸化作用のある成分と共にとると、より強い効果を発揮します。

ビタミンEを多く含む代表的な食品とは...

ビタミンEを多く含む食品	含有量(mg)/100g中	ビタミンEを多く含む食品	含有量(mg)/100g中	ビタミンEを多く含む食品	含有量(mg)/100g中
アーモンド	31.2	アンキモ	13.8	煮干し桜エビ	7.2
綿実油	31.1	ピーナッツ	10.9	辛子明太子	6.5
サフラワー油	27.6	いくら	9.1	南瓜	5.1

うまげな 鶏肉とブロッコリーの料理カード

材料 鶏もも肉 150g 塩・こしょう 少々 ブロッコリー 60g
スライスアーモンド 20g サラダ油 大さじ1
生姜(薄切り) 5g すりおろしにんにく 少々
桜えび(干し) 10g チキンスープの素 大さじ2
調理酒 大さじ1

作り方 ①鶏もも肉は、食べやすい大きさに切り、塩・こしょうをしておく。
②ブロッコリーは小房に分け、固めに茹でておく。
③フライパンでスライスアーモンドを乾煎りし、取り出しておく。
④フライパンにサラダ油を熱し、①の鶏肉を入れた後、しょうが、にんにくを加える。香りが出てきたら②のブロッコリーと③のアーモンドと桜えびを炒め合わせる。
⑤最後にチキンスープの素と調理酒を加えると出来上がり。



健康にいい食材をたくさん食べましょう!

栄養科

体の安心情報板 健康ひろば 第28回 テーマ 「胃がん検診について」

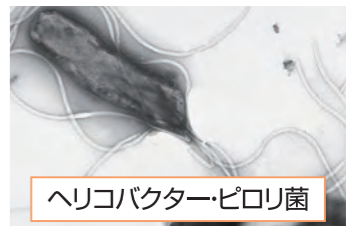
わが国で胃がんにより亡くなる人の数は、毎年約5万人であり、ほぼ40年間変化していません。胃がんを減らすために胃がん検診が行われていますがその歴史は古く、1953年から胃X線検査が試験的に始まり、1956年より本格的に施行されています。近年では胃内視鏡検査がその主流となってきてはいますが、現在でも胃X線検査は欠かすことができません。

胃がんの原因としてはお酒やタバコなどがありますが、現在一番大きな要因としてヘリコバクター・ピロリ菌という菌が胃に感染していることが影響すると言われています。胃にピロリ菌が感染していると胃の粘膜(ねんまく)が傷つけられ、萎縮(いしゆく)性胃炎という慢性胃炎を起こします。そこから胃がんが発生すると考えられており、ピロリ菌による胃がんのリスクは5~10倍以上あると言われています。

胃カメラでは胃の中を直接観察して病変や粘膜の萎縮を調べることが出来ます。また必要に応じて生検(胃の組織を直接取ってきて顕微鏡(けんびきょう)で調べる検査です。)を行うこともできます。

胃カメラの方が胃X線検査より診断率は勝っているとも言われていますが、胃X線検査は胃カメラより一般的に検査時の負担が少ないです。また胃X線検査は古くからある検査ですが、機械は段々と進歩してきています。最近ではデジタル化され画像がきれいになっており、より小さな病気も見つけやすくなっています。例えば右の胃X線写真ではいわゆる「タコイボ」の様な盛り上がりをつくも認めており、慢性胃炎と診断されてきました。しかしこのタコイボ型の胃炎は胃酸過多(胃酸が多すぎる)の方に多く発生することが分かっており、ピロリ菌感染が無い方に多いです。このような方は慢性胃炎があっても、ピロリ菌感染のある方と比べるとむしろ胃がんにはなりにくい、といったことも検査からわかります。

色々な検査方法がありますが、胃がんを早期発見し胃がんのリスクを調べるためにも、まずは胃がん検診を受けてみることをお勧めします。



ヘリコバクター・ピロリ菌



多発タコイボ型胃炎

内科医師 浅野 雄大

● 第10回 院内学会開催

院内学会を始めて今年で10年目を迎えました。今年は64演題の発表があり、記念すべき10回目のみごと選ばれた6演題は、どれも納得の出来栄で、内容に感動したり、パワーポイントの作り方に感心したりと興味深いものでした。院内学会が始まった当初は準備などが大変でしたが、今ではもう来年に向けて取り組もうとしている職員もいるなど、継続することの大切さを感じています。

最優秀賞
演題 「わしらの神楽舞いを見てくれ! 若いもんにはまだまだ負けん!」
～利用者の意欲向上をめざして～
通所介護 げんきの郷

優秀賞
演題 「ターミナル患者にできる事」
1病棟 介護福祉士
演題 「介護療養型病棟の必要性について」
～講演活動から介護実習実施までの経過～
1・2・3病棟 介護福祉士

特別賞
IT化で賞
オレンジリングでつながりま賞
最後まで寄りそいま賞



演題 「タブレット端末をリハビリに活用する試み」
リハビリテーション科 理学療法士

演題 「認知症になっても生活していける町にするために」
～認知症サポーター養成講座～
サンライズこんぴらグループホームこんぴら 介護福祉士

演題 「ターミナル期にある患者のケアを行って」
2病棟 看護師